

山中 裕司 やまなか ゆうじ
生活文化常任委員会所属(委員長)

「いつまで」に「何」を達成すれば対話と共創のまちがつくられたと言えるのか、**将来の展望**について市長に質問。また、**ごみの減量化**や**大久保北部市有地の里山を保護保全する取組**について質問しました。

「対話と共創のまちづくり」の具体的な指標を & 指定ごみ袋の導入検討について

山中からの質問要旨

①数値目標達成には、積み上げではなく、逆算で考えることが重要では。②**単純指定ごみ袋の導入**が検討されているが、住民に負担を課すなら、これまで以上の対策や地域説明会等が必要では。



明石市の答弁要旨

①イノベティブな取組を展開し、もっとやさしい明石の実現につなげる。②「有料指定ごみ袋」ではなく、「**単純指定ごみ袋**」の導入を検討中。**地域や関係部署等と協議**を進め、適正に対応していく。



有料のごみ袋ではなく、「単純指定ごみ袋」の導入を検討

黒田 智子 くらだ ともこ
文教厚生常任委員会所属(副委員長)

下記のほか、**小1プロブレム解消**に向け「**架け橋プログラム**」「**就学相談の伴走支援**」「**5歳児健康診査からの保護者支援**」等を質問。「対話と共創」をさらに進める提案も行いました。

こどもまんなか社会実現に向けた、若者までを対象とする明石版こども計画策定について

黒田からの質問要旨

オンライン意見フォームや**ユースカウンスル**(若者が自分たちで自分たちのまちをつくれる仕組み)等、**こども若者の意見を聴き反映する取組**をしては。市の体制やこども若者にとって相談しやすい窓口等も必要では。



明石市の答弁要旨

計画のネーミング、声を上げやすい方法や相談しやすいツールについても、**こども若者の意見を聴きながら考える**。計画策定の中で、市の体制づくりも含め、どのような形にしていくのか慎重に検討したい。



「若者がまがねなく参画できるまち」の実現を目指して、Municipalに参画するメンバー全員で互いに協力、連携しながら活動しています。メンバー同士の交流を図ったり、市内のフェスティバル等を行っています。地域のイベントにも積極的な出席したり、自分たちで企画を立ててイベントを実施することもあります。

尼崎で盛り上がりを見せるユースカウンスル

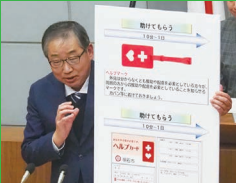
金尾 良信 かなお よしのぶ
生活文化常任委員会所属

能登半島地震の現場に足を運び、**障害者の「障害特性」**を踏まえた適切な**支援の必要性**を改めて実感。本市の対応方針を確認しました。また**通学路の安全対策強化**についても質問しました。

一目で分かりづらい障害者への支援、在宅避難や車中泊避難をした障害者への支援

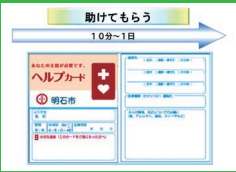
金尾からの質問要旨

在宅避難や**車中泊避難**をした障害当事者においては、支援情報が伝わらない、支援物資を受け取れない、必要な医療支援や健康相談が受けられない等の課題が予測される。その対応については。



明石市の答弁要旨

在宅避難や車中泊避難をされる市民の方も含め、最寄りの指定避難所に避難者名簿及び要配慮者確認票を記入・提出していただき、医療支援や健康相談、物資の提供など必要な情報の提供に努めていく。



ヘルプカード

中川 夏望 なかがわ なつみ
総務常任委員会所属

下記のほか、**明石港東外港地区の再開発**について、令和7年度に計画されている県との共同社会実験の費用負担や、東外港から大蔵海岸の景観を守る取組等について質問しました。

医療的ケア児やその家族、障害を持つ子のきょうだい児等の支援について

中川からの質問要旨

①医療的ケア児を育てる保護者を対象に、自宅に訪問看護師等を派遣し、家族の介護負担を軽減する「**在宅レスパイト**」を検討しないか。②障害児とその家族を対象とした**プロスポーツ観戦**を企画しないか。



明石市の答弁要旨

①必要性は十分に認識している。市としてどのような取組ができるか検討する。②障害のある方を含め、市民に対する**プロスポーツ観戦の機会**を、**産官学共創の枠組み**で取り組んでいく。



スポーツ観戦の機会を

山下 祥 やました しょう
建設企業常任委員会所属

ビーチスポーツ選手として、かねてより訴えてきた**大蔵海岸の可能性**。市政における機運の高まりも感じる中で、改めて今後の方針の確認や秋に控える**神戸マラソン**への提案を行いました。

大蔵海岸を核としたにぎわいづくりについて

山下からの質問要旨

①「(仮称)大蔵海岸みらいプロジェクト」の進め方は。②神戸マラソンに合わせて大蔵海岸内の市道を「(仮称)**あかしサンセットロード**」と愛称化しないか。③芝生広場に**バスケット**を設置しないか。



明石市の答弁要旨

①外部有識者の意見も踏まえて検討を進めていく。②愛称化は本市の裁量でできるPR手法の一つ。**市民提案も含めて効果的な手法を検討**したい。③4月から多目的広場に**移動式バスケットゴール**を設置する。



市道愛称化で「冬だけ水平線に夕陽が沈む」大蔵海岸のPRを

予算に賛成..ただし意見アリ！

市長の施政方針で「未来に夢がもてるよう多様な学びの保障等の取組拡大」が語られるも、そのシンボルと言える『**こども夢応援プロジェクト**』の対象者が**200人から150人に縮小**され、**予算も減**。当プロジェクトは、高校進学に際して経済的な理由で学びの機会が制限されるこどもたちを対象にした**返済の要らない奨学金の支給制度**で、まさに「**誰一人取り残さない**」ための予算。

夢をあきらめなければならない状況のこどもがいた時に、**補正予算を組んで救って**いただけるよう、強く意見しました。

請願トピック

市民の会の議員がミニシンポジウムも開催した『**児童通所サービス(児童発達支援・放課後等デイサービス)の所得制限撤廃**』について、「意見書採択に関する請願」が全会一致で採択されました！

市民の会だより

春号
令和7年

発行 明石市議会 市民の会 〒673-8686 兵庫県明石市中崎 1 丁目 5 番 1 号 明石市議会「市民の会」控室
Mail shiminakashi@gmail.com ※この市政だよりは、明石市議会「市民の会」政務活動費によって発行されています



中川 夏望
なかがわ なつみ
総務常任委員会所属



山中 裕司
やまなか ゆうじ
生活文化常任委員会所属(委員長)



黒田 智子
くらだ ともこ
文教厚生常任委員会所属(副委員長)



金尾 良信
かなお よしのぶ
生活文化常任委員会所属



山下 祥
やました しょう
建設企業常任委員会所属

新年度予算を可決

新年度の明石市の主な取り組み

二見図書館(ふたみん)新設

ごみの減量化・再資源化の取組促進

DXのさらなる推進
(公式LINE活用、キャッシュレス決済導入、業務効率化、デジタル人材育成)

世界一のビーチスポーツスポットを目指し、**大蔵海岸の魅力向上**

全中学校・明石商業高校体育館の空調整備
部活等の熱中症対策&避難所としても機能強化へ

防犯カメラ設置による地域の防犯力向上

小規模保育所新規開設等による待機児童対策

西明石駅南地区整備事業
駅前広場や地域交流センター等を整備

生物多様性保全の取組

明石養護学校
校舎新設&室内温水プールでの水泳授業開始

(仮称)**あかしこども計画**の策定

こども若者交流施設あかしユースポート開設

産官学民と連携した(仮称)**共創プラットフォーム**の構築

大久保駅周辺市有地
利活用に向けた基本計画策定

多様な視点に配慮した**避難所の環境整備**

市政報告会を行います

報告会では、それぞれの一般質問や新年度予算について深堀りします。
※子育てやお仕事忙しい方のために、**Xでオンライン配信**もいたします。

5月11日 日
18時~20時

パピオスあかし2階
あかし市民広場
JR明石駅南口すぐ
(明石市大明石町1丁目6-1)

Xでオンライン配信も行います。
日頃の情報発信もしていますので、ぜひフォローをお願いいたします。

あかし市民広場

入退場自由
参加無料
飲食OK!



市民の会の政策実現で 明石市はこう変わった！

市民の会は、5人それぞれの個性や得意とするテーマを政策につなげられることが強み。直接届く市民の声はもちろん、今まで政治に関心を抱きづかった市民のニーズも拾い上げ、「市民目線」をモットーに活動しています。ここで紹介するのは、明石市政において「もっとこうしたらどうか」と提案型で実現できた代表的な結果。これ以外にもSNSで日々発信中。市政に関心を抱いてもらうことも私たちなりのチャレンジです。ぜひお気軽に覗いてみてください。

みんなでつくる財政白書策定



重要だが難しい『財政』というテーマについて、市民・有識者参加型でつくる「財政白書」を提案。2年の構想・検討段階を経て、このたび公開されました。

強度行動障害のある人へのグループホーム利用支援

現状は軽度対象者のグループホームが多数。住み慣れた地域で安心して暮らせるよう体制構築を提案。受入施設に対する市の独自加算が設定されることに。

公設民営のフリースペース2箇所目開設

学校でも家庭でもない「こども第三の居場所」のフリースペースが、市東部のみで定員に限りがある現状を問題提起。魚住駅近くの新設につながりました。



海のまち「朝霧」駅前再整備

市外からも多くの人々が訪れる「東の玄関口」として、市民の声を活かした再整備を提案。明石高専生のアイデア等から「ヤシの木」をシンボルとした駅前空間ができました。



車イスのまま海水浴が楽しめるインクルーシブビーチ開設

海外の先進事例を明石でも。市主催で、大蔵海岸で活動するビーチスポーツチームと明石高専生が連携して「誰一人取り残さない海」を実現。今夏も実施が予定されています。



大蔵海岸に移動式バスケットゴール設置

バスケット人気の高まりに反して、騒音・老朽化問題から市内公園のバスケットゴールは撤去続き。そこで「移動式コート」活用を提案し、今春から大蔵海岸にバスケットゴールを設置する実証実験へ発展。



明石商業高校福祉科開設&充実化



福祉現場の声を届け続け、「福祉のまち」の「福祉科」が誕生。開設後に「福祉の仕事の魅力を伝える必要性」も訴え、積極的な広報が行われています。

「水泳授業」民間委託の実験開始

多額のプール改修費を抑え、専門性の高い指導を受けられる等、多くのメリットが示された先進事例を提案。谷八木小に続き、清水小でも実証実験が始まることになりました。



校内フリースペースの整備

不登校児童生徒は増加中。全小中学校の早急なフリースペース整備を提案し、7小学校が追加。全中学校と14小学校の整備と運営指針の配布が決定しました。

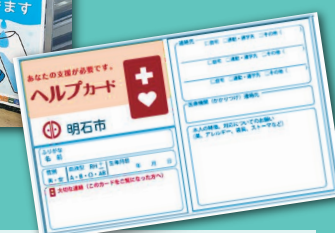
小児科診療所が2件増

年少人口あたりの小児科診療所数が全国・兵庫県平均よりも低い実態を問題提起。提案した開設補助制度を通じ、特に診療所が少ない市東部に2件新設。



無料給水スポット「ごくごくスポット」設置

近年の猛暑を受け、誰でも利用できる給水スポットの整備を提案し、市役所内に新設。熱中症予防に加え、マイボトル普及による環境負荷軽減への期待も。



医療的ケア児の支援拡充

支援が遅れていた分野のため、早急な改善を提案。支援ハンドブック完成、相談窓口設置、担当職員配置、受入可能な保育所拡大等、整備が加速しました。



病児保育拡充&育休退園制度の完全撤廃

子育て環境改善を訴え、営業時間内かつ電話受付だった病児保育の予約がオンライン化。また西明石に病児保育室が新設。育休退園制度も廃止となりました。



在宅療養・介護ハンドブックの作成

在宅医療・介護を受ける人や家族向けのハンドブック作成を提案。不安に応じた支援体制や実例等がまとめられ、保健所をはじめとした市内30カ所で配布へ。



ひなんサポーター養成&個別避難計画の作成

災害支援時に障害の有無が一目で判断しづらい聴覚・知的・精神障害者への対策を提案。避難所での配慮者確認票の記入等、サポート体制が整備されることに。